

八坂地区タウンミーティング（要約）

テーマ：八坂地区のまちづくりについて

令和2年1月22日（水曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。今日は平日の夜で、冷たい雨も降っていましたが、このようにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。この会の開催に当たりましては、八坂地区まちづくり協議会の鶴高会長をはじめ、役員の皆さんには、大変お世話になりました。本当にありがとうございます。松山市のタウンミーティングですが、私が市長に就任させていただいてから始めました。どちらが楽かという、市役所に座って皆さんが来られるのを待っている方が楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。松山市は旧北条市と旧中島町を合わせて41地区に分かれ、それぞれの地区ごとに、魅力もあり、逆に課題もあります。私たちが待っているのではなくて、各地区に出向いて行って、その声を聞かせていただいて、市政に反映できるところから反映をしていこうということで、このタウンミーティングを始めました。市長の任期は1期4年、48カ月ですので、1カ月に1地区のペースで回らせていただこうと思っていましたが、おかげさまで好評になり、1期目の4年間で41地区を二巡りさせていただきました。2期目からは、若者や人生の先輩方、子育て世代の方々に集まっていただく世代別タウンミーティングや、商店街の方方や農業をされている方々に集まっていただく職業別タウンミーティングを始めました。また、3期目に入り、今日で118回目のタウンミーティングになりますが、これまでのタウンミーティングで市の取組が分かって勉強になったという声を多く頂きましたので、「広報タイム」というのを設けて、皆さんに知ってほしい松山市の取組などを紹介させていただいています。今日のタウンミーティングで皆さんから頂いたご意見には、できる限りこの場でお答えしますけれども、中には国や県と関係する案件や、財政的によく考えなければならないものは、いったん持ち帰らせていただいて、1カ月をめぐりに必ず地区に返すというのが、松山市のタウンミーティングの特徴です。今日は、八坂地区のいいまちづくりに向けて、いい意見交換をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

【男性】 本日は、八坂地区でタウンミーティングを開いていただいて、ありがとうございます。八坂地区は市内中心地でありながら高齢化率が他地区に比べて高い地区です。また、公民館の分館も集会所もなく、この公民館1カ所でいろんな事業を行っています。まちづくり協議会で敬老会を主催していますが、敬老会対象者から「毎年3階まではしんどくて来年は欠席します」との話が出ています。前回、前々回のタウンミーティングでも公民館にエレベーター設置の要望をしましたが、今回も要望いたします。難しい条件があるかもしれませんが、市役所で英知を尽くして実現できるようお願ひいたします。

【生涯学習政策課長】 エレベーターの設置につきましては、多くの公民館からご要望

を頂いています。エレベーターを設置するためには、エレベーター本体に加えて乗り降りするスペースが必要になります。そのためには会議室などの広さを小さくするなどして、スペースを作らなくてはなりませんし、建物の強度を保つためにどこに設置するかということが大切になります。そこで、これらの課題を踏まえて、エレベーターを設置できるか、公民館を使われる皆さんと十分に話し合った上で検討していきたいと思えます。

【市長】 松山市は地区ごとに公民館本館があり、41の公民館があります。集会所という言い方もしますが、公民館分館が松山市内で約300あります。耐震化ができていない公民館本館が一つだけ残っていて、それは番町公民館でしたが、協議がまとまり、耐震化ができるようになりました。公民館本館の耐震化のめどがたちましたので、次は、各公民館の施設改修、長寿命化に入っていければと思っています。現状、八坂公民館はスペースがないので、エレベーターをつけるのは難しいですけれども、何かできる方法はないかと考えています。職員には「知恵と工夫と連携と」ということをよく言っていて、皆さんと協議をさせていただいて、スペースを生み出すことができれば、エレベーターの設置も可能かなと思っています。

【男性】 今の話と関連があるんですけども、やはり高齢者の方に3階まで上がってもらうのは難しいということで、一つの案ですけれども、2階と3階を入れ替え、2階に大ホールを作ってもらって2階の部屋を上にあげるというのも一つの手ではないかと思っています。それも案として考えていただいたらと思います。

【市長】 こういう話し合いができたと思うんです。もうできんと言って跳ね返すのではなく、哲学の難しい言葉では、アウフヘーベンとか言いますけれど、お互いが寄って、意見を出し合って、どうやったらできるのかという観点で八坂公民館のエレベーター設置ができればと思います。案を出していただいております。皆さんと協議させていただいたらと思います。よろしくお願ひします。

【男性】 私のお願いは、八坂小学校に洋式のトイレを増設していただきたいということです。今は各家庭で洋式になっていて、子どもが和式はなかなか使いづらいという話を聞きます。先日もある会合で50代の男性が体調が悪いから帰ってくるという話がありました。そこには和式しかなく、家まで帰って用を足してきたと、そういうことがありましたので、ぜひ小学校に増設をお願いしたいと思えます。

【市長】 今、ちょうど取りかかっているところです。やはり生活様式も変わってきました。和式のトイレに慣れていない児童・生徒もいます。また、災害の避難所になるのが小学校・中学校で、高齢者の方も利用されますから、計画的に改修に取り組んでいるところです。今、八坂小学校では男女共用の屋外トイレを男女別化する工事に入り、併せて便器の洋式化も行います。3月末の完成に向けて昨年12月末から工事に入ったと

ころですので、もうしばらく待っていただけたらと思います。また、市内の校舎、体育館のトイレは、校舎などの大規模改修のときに、便器の洋式化と床をより清潔に保つことのできる素材に順次、張り替えていく予定です。

【男性】 電線の地中化率は、パリとかロンドンだと100%くらいです。アジアでは、ソウルは49%くらいで、台北やシンガポールは95%くらい、ジャカルタでも35%くらいです。それに引き換え、日本では東京23区、大阪市でも8%前後だと思います。そして、日本全国だと1.25%くらいだったと思うんです。これは、国と関係すると思いますけれど、やっぱり松山市も将来きれいな町並みを残したいですし、観光のためにも地中化した方が、もっと観光客も来てくれます。ロープウェー街とか花園町は線としてきれいになったんですけれども、広げたら面としてきれいになります。例えば、電柱がなくなると青空がきれいに見えますし、将来は道路とか広場にオープンカフェでもできるんじゃないでしょうか。さらなる魅力を高めてほしいなと思います。

【都市・交通計画課長】 今、地中化を国、県、市が力を合わせてやっているところで、松山市では歩行空間の確保、美しい景観づくりや災害に強いまちづくりのために、電線などを地中に埋める、いわゆる無電柱化事業に取り組んでいます。国、県、警察のほか四国電力やNTTなど電気通信事業者とも協同して無電柱化推進計画をすでに策定して、昭和62年から計画的に事業を進めています。最近の事例としては、平成22年から平和通りや二番町線の工事を進めていて、昨年（令和元年）10月からは総合コミュニティセンター北側の千舟町空港線や市役所第四別館（教育委員会）北側の三番町線、JR松山駅周辺土地区画整理事業の市内の路線でも事業を開始しようとしています。このように国、県、市が力を合わせて、今後も進めていきたいと思っています。

【市長】 花園町通りがその代表例です。上水道の工事、下水道の工事、ガスの工事、電線の地中化工事と、何回も何回も工事が続くよりは一度にまとめて工事した方がいいですよ。花園町通りは昔、東側にアーケードがあり、だいぶ古くなっていました。商店街の方々もだいぶ高齢化していて、自分たちの力だけでは、商店街の古くなったアーケードを撤去することもままならないという状況でした。花園町通りは路面電車が複線で、以前は車道が片側二車線で合計四車線、イチョウ並木の緑地帯、副道が両側にありました。西側は家具屋さんがあったところですが、まだ比較的新しいという状況でした。自動車の交通量を調査すると、最盛期に比べ、バスやタクシー、路面電車や郊外電車もあり便利の良いところなので、交通量は半分くらいになっていました。体が不自由になって家でこもるより、どちらかという歩いていただく方が回復も早く、健康にもつながります。またウインドウショッピングという言葉もありますけれども、歩いていただいた方が買い物にもつながるし、人はすれ違ふと「こんにちは」とあいさつをしますから、歩くことは人がつながるということにもなります。ですから、できるだけ歩きやすいように車道を縮めて歩道を広くするという事業を、花園町通りでさせていただきまし

た。自転車と交錯して大きな事故になることもありますから、自転車道とはっきり分けました。花園町通り周辺は、かなり放置自転車もありましたから、自転車を置く場所も作る工事もしました。ちょうどNTTさんの電線の地中化の時期でしたので、花園町は電線を地中化させていただきました。このように市としては無電柱化をやりたいんです。やっぱりお金のこともあります。これまで市駅前の無電柱化、国道56号から大街道の千舟町通り、花園町通りから大街道の三番町通り、南堀端から千舟町通り、一番町通りから中の川通り、平和通り二丁目から六丁目、ロープウェー街、一番町通りから坂雲ミュージアム、子規記念博物館の周り、道後温泉本館の周り、花園町通り、二番町通り、平和通り一丁目、二丁目などと進めてきましたので、タイミングを見計らいながら、これからも計画的に進めていきたいと思っています。

【男性】 永木交差点の信号のあり方がいつも不思議に思います。南から東と東から北への右折ができないんです。いずれの右折も2台くらいしか通行できない状況です。もし今のままなのであれば、右折用の補助信号、矢印信号を付けてもらおうとかなないと。この改善をお願いしたいと思います。

【都市・交通計画課長】 私も通ったことがあります、2台か3台しか通れないという事情はよく分かります。そういった交通規制に関わるものは警察が担当していますので、今日のお話を警察へお伝えさせていただきます。まずは警察の中で協議すると思いますが、地元の方でもご意見がまとまりましたら、改めて警察に地元要望として伝えていただいたら、警察も検討すると思いますので、よろしくをお願いします。

【市長】 交通規制に関することも遠慮なく言っていただいたらと思います。もう皆さんご存知のように、50kmで走りましようとか、信号が赤になったら止まりましようというのは規制ですから、警察の話になります。道路は、国が管理する国道、愛媛県が管理する県道、松山市が管理する市道、私道、農道もありますし、国道も11号もあれば、33号、196号、439号など大きい番号の国道もあります。ですから、皆さんがどこに話をすればいいのか分からないと思いますので、遠慮なく市に言っていただけたらと思います。今日は、松山東署の署長にも来てもらって松山市役所の大会議室で交通安全研修大会を開催しました。我々は警察と一緒に、いろいろ交通のこともやっています。必ずこの話を警察の方にお話させていただきます。

【男性】 松山唐人町郵便局の南側の道路は、片側二車線の合計四車線で、交通量がまあまあ多いんです。その道路には横断歩道がありますが、八坂地区は高齢者の方も多くて、その横断歩道がなかなか渡りづらい、なかなか車も停まってはいただけない状況です。さらに道路に街路樹があって、左側から来ている車が見えにくかったりします。例えば、車が来てないので渡ろうと思ったら、実は街路樹に隠れて車が通っていたりとか、私もそういう経験があり、私の身長でもその街路樹に隠れて車が見えなかったりするの

で、お年寄りの方であれば、さらに見えにくいのかなと思います。できれば、ここに押しボタン式の信号とかをつけていただけたら、皆さん安心して渡れるのかなと思います。

【都市・交通計画課長】 信号機は、交差点の形状や交通量、過去の事故の発生状況を判断して警察が設置しています。信号機の設置の基本的なルールがあって、隣接する信号機との距離が、原則150m以上離れていることが必要条件とされています。ご指摘の箇所の距離が、近くの信号機からはだいたい100mくらいかなと思います。また、周辺の信号機と連動することになりますので、ボタンを押してから待ち時間が長くなるという点があるかと思うんですけども、先ほどと同様に今日いただいたご要望は警察にお伝えします。ドライバーに一時停止を促す手段としては、横断歩道の存在を示す看板などの設置も考えられますので、地元の皆さんと相談の上、ご意見がまとまれば、改めて担当の松山東警察署交通第一課に相談していただきたいと思います。

【男性】 新立の信号から湯渡橋の信号まで、朝や夕方など、ひどいときは車がつながります。ですから、生活している人は、そこから車を出すのも苦労していると思います。信号の調整を私も警察に言ったのですが、昔の国道11号のままの間隔になっているんじゃないかと思います。長くつながっているのに、旧11号の方はパラパラ通っているんです。その辺を工夫すると皆さん助かるんじゃないかと思います。

【都市・交通計画課長】 信号機の時間は警察で管理しているので、もしかしたら先ほど言われたように古いままになっている可能性もあります。確認して返答させていただきますと思います。

広報タイム『楽しく覚えて、「元気で笑顔」～インフルエンザの予防～』

【男性】 結論から言うと、八坂小学校の改革をしていただきたいというお願いです。1点目は、私の町内会には小学生が5、6人いますが、全員が八坂小学校に行かずに番町小学校に通っています。学校の位置が校区の一番東にあり、本来、八坂小学校はここ（八坂公民館）だったんですが、今は湯渡の方に変わっており、小学校の位置にも関係するんですが、新旧の国道2本を通らないとだめだという学校の位置です。そういった場所的な問題もあります。それから、もっと魅力のある小学校にしたら、ちょっとは変わってくるんじゃないかと感じ、英語教育のモデル校にさせていただいたらいいのではと思います。英語教育に力を入れていただいて、今年（令和2年）度から、外国語教育は、5、6年生だったのが3年生以上で始まるようになっていますが、八坂小学校をモデル校として1年生から英語教育を取り入れていただきたいのです。実際に、東京都千代田区の区長さんが一念発起して、各学年1クラス集めるのに苦労していた学校で、1年生から英語教育を始めた途端に2クラス以上になったという事例があります。いろいろやり方があると思いますが、1年生から取り組んでいただく形をとっていただいたらありがた

いなと思います。例えば、アメリカでは、英語ができない移民者への英語教育として、セサミストリートを教材にしています。セサミストリートは、善悪の問題、礼儀の問題、その国のルールの問題というのが自然に身についてくるということで、NHKのEテレで活用されていますが、そういったのを参考にさせていただいたらありがたいと思います。

【生涯学習政策課長】 八坂小学校は、平成27年度から幼保小中連携推進校教育の研究推進校として東中学校と連携して、9年間を見通した魅力ある学校づくりに取り組んでいます。ご提案の英語教育につきましては、令和2年度から学習指導要領が変わり、小学校3、4年生では外国語活動の時間が今までの年間15時間から35時間に増えます。また小学校5、6年生は成績評価の対象になる正式な教科として年間70時間の英語教育が始まります。先ほどご提案のありました、小学校1年生から英語教育ということですが、八坂小学校だけでなく松山市全体のことですけれども、小学校1、2年生時に、漢字や平仮名、カタカナの学習が始まるため、子どもたちの負担増を考慮して英語教育は実施していないものの、外国人講師(ALT)との触れ合いを通して英語に接する機会を増やしている状況ですので、よろしくをお願いします。

【市長】 一つのやり方としてあると思います。市内中心に3校(東雲、八坂、番町)あり、番町は非常に歴史の古い学校、東雲は東中学校と連携した取り組みをしています。私は八坂小学校に来させていただいて、特に印象的なことが二つあります。まずホテルです。ホテルの活動を長くされていて、これはすばらしいと思います。荒らされてはいけけないのでホテルの場所はあまり広げないようにしたいと思うんですけれども、お城の夜景が見えるところでホテルが飛ぶなんて、全国でも珍しいんじゃないかと思います。お世話をしてくださっているから今があるわけですけれども、八坂小学校の良さを知ってもらうために、ホテルの活動を知ってもらうとありがたいなと思います。もう一つは、八坂の運動会は、公民館と小学校が一緒になってやりますよね。地区が一緒になって運動会をするのもすごくいいと思うんです。小学校単独でする運動会もいいですけれども、地域と一緒にする運動会もいいと思います。そういう良さが周りの方に伝わっているのかなと教育委員会の方とも話してみたいと思います。英語教育を充実させたモデル校も一つのやり方だと思いますので、貴重なご意見をいただいたと思います。ありがとうございました。

【男性】 私が住んでいるのは桑原校区ですが、子どもは八坂小学校に校区外通学させていただいています。今、モデル校の話がありましたけれど、すでに八坂小はモデル校だと思ったんです。というのは、学校に併設する形で共同調理場があり、娘はそこで給食が作られる匂いとか給食のおばちゃんの顔が浮かんで来て、苦手なものでもちゃんと給食を食べていて、そういう意味ではすでに大変ありがたい現状です。ただ、小耳にはさんだんですが、共同調理場の統廃合が進められていて、近々この八坂の共同調理場が給食を作るところでなくなるスケジュールが組まれているみたいで、非常に残念だなと

思っています。そのあたりのタイミングを再考していただければと思います。

【生涯学習政策課長】 共同調理場の件ですが、松山市では厳しい財政状況の中、市内全域の共同調理場の状況を総合的に考えて、子どもたちに学校給食を安全安心、安定的に提供するために、平成29年度に共同調理場整備計画を策定し、それに基づいて整備を進めているところです。ご質問のありました八坂の共同調理場は、昭和55年に建築されており、古くなってきていますが、建築基準法により、現在の位置、八坂小学校の中に建て替えができない状況です。そこで整備計画に基づいて、令和3年度に共同調理場を廃止させていただき、八坂小学校の給食は令和4年4月から他の調理場からお届けするようになりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

【市長】 建築基準法によってこの敷地内では建て替えることができないということですかね。

【生涯学習政策課長】 共同調理場は、工場ということになりまして、今のところでは建て替えられないということです。

【男性】 石手川の問題でお願いしたいと思います。石手川は松山市から流れ始めて瀬戸内海に、松山市を端から端まで流れています。石手川全体のことでもあるんですが、ここを車も人も自転車もスムーズに通れるようにしてもらいたいです。八坂地区の湯渡橋から立花橋までの中で、特にお願いしたいのが、湯渡橋から永木橋までは片側ないし両側に歩道が続いていますが、永木橋から中村橋、立花橋までの間は歩道がありません。自転車も並行して走っていますが、そこに歩道が続くようになりませんか。堤防ですから県の問題、国の問題も入って来るかもしれませんが、人や自転車が安全にスムーズに通れるようにお考えいただきたいです。

【都市・交通計画課長】 国、県、市がそれぞれ道路を管理していて、松山市としては松山市道を管轄しているんですが、当然、国や県と常に情報交換しています。基本的には自転車は歩道ではなく車道を走るものですが、思いやりの精神の中で車道を譲り合いながら走るとか、花園町では新たに道路を作り直すときは再配分をさせていただいています。そういった中で、お尋ねの道路でそういったことが可能かどうかを、改めて松山市から、国土交通省と愛媛県に話させていただきます。

【市長】 我々としては、歩いて暮らせるまちづくり、自転車のことをドキドキせずに、歩けるようなまちづくりをしていきたいと思っています。石手川の道路のことを言われましたけれど、石手川の公園はだいぶ変わってきたと思います。中村時広前市長のときに計画が立てられて、私も引き継いでやらせていただいて、ほぼ完成しました。石手川公園は約6 kmあります。これを、岩堰橋から新立橋は四季の森エリア、新立橋から立花橋は都市の森エリア、立花橋から市坪橋は集いの草原エリアという三つに分けて整備してきました。昔は、石手川の公園って大きい駐車場はなくて、車で来ることが難しかったですけど、若いお父さん・お母さんや、おじいちゃん・おばあちゃんが、車でべ

ビーカーを積んで来られるのに、車で来ないと難しいだろうということで、駐車場も整備させていただきました。子どもさんが利用するだけでなく、大人の方も利用されますから、石手川の公園に健康器具も結構入れました。上流の方にはビーチバレーのコートがあります。このように、皆さんのご希望を聞きながら整備を進めています。道路もそのような方法で進めていきたいと思っておりますので、ご理解いただけたらと思います。

【男性】 お金が要る問題でもあるし、国とか県に関係することですが、先ほどの石手川に絡んでです。私も八坂小学校に通って、石手川で遊びました。兵隊さんがよく訓練をしていました。松林が中心で竹もたくさん生えていて、遊んでいるとき、かき分けると兵隊さんと顔を合わせていたことを思い出します。実は、学校で地域の歴史を3年生、4年生で学びます。前回のタウンミーティングでも市長さんをお願いしたんですが、「鎌出し」というのが湯渡にあって、一つはつぶれましたが向かい側の日の出側にもありました。今、一つ石垣が残って、工事があの辺りまで進んでいますが、県との絡みが出てきます。まちづくり協議会でも、いろいろどうするかを考えています。今の道路もすべて絡んでくると思いますが、歴史を大事にしてもらいたいと思います。ここには、享保年間に川を改修した大川文蔵さんという人がいました。その人は西条の人で、本気を示すために私はしたと思うのですが、自分の孫を人柱にしました。それが中村橋を渡ったところにあります。後ろ側は見えないんですが、「大川文蔵四世孫」と書いています。そういう考え方は良いとも悪いともいえるんですが、そういうことがあって現在の石手川が大きな災害がないままきたと、テレビ番組で取り上げられていました。私も調べてみると、石手川は上手にせきを作って、本当に水を上手に使っています。よそから親戚が来るんですが、松山の川はきれいと言うんですよ。そういえば、高松なんかは濁っているし、高知も水はたくさんあるが川底までは見えません。もう一つは桜がすごくきれいなので、桜と地域の歴史を組み合わせると郷土の誇りになるようにお願いできたらと思います。もう一つ、立花橋のところに壊れかけた堯音さんの顕彰碑があります。お寺が焼けたのでお寺を立て直したり橋を架けたりしています。このような歴史を大事にしてくださいと学校で教えるときもいいんじゃないかと思っておりますので、検討をお願いします。

【市長】 ご存知ない方もいるかもしれませんが。鎌投げとか鎌出しとか言ったりしますが、足立重信さんという偉い方がいて、石手川を付け替えたんです。鎌投げ、鎌出しとは昔の工法のことです。立花橋を作られた堯音和尚さん、またお地蔵さんのことも教えてもらいました。

【生涯学習政策課】 私から、歴史の継承についてお答えします。まず、教育委員会では、子どもたちに地域の偉人などを紹介する目的で『ふるさと松山学』という本を作成して、小学校5年生から中学校3年生に教材として各学校に配布しています。その中で先ほどの堯音和尚のことにも触れていて、学校で朝の読書や授業の教材として活用しています。そのほか、鎌投げ、おかよ地蔵などは、公民館で作成している50周年記念『八

坂公民館のあゆみ』に載っていますので、必要でしたら公民館で貸し出しさせていただきます。また、まちづくり協議会の中には、地域の歴史資源などをまとめたマップや冊子を制作しているところがありますので、市民参画まちづくり課にご相談ください。もう一つは、歴史的なものに解説案内標識などの設置をする場合には、上限30万円の補助金が出る地域の宝みがきサポート事業補助金制度がありますので、ご利用される場合は、坂の上の雲まちづくりチームにご相談ください。

【市長】 全てのご家庭に届いている広報まつやまでも、できるだけ地区の話題を出すようにしています。これはこんな思いがあります。地方では人口減少と言われ、18歳までがある意味勝負だと思っています。やっぱり高校卒業するまでに地元を好きだなんて思ってくれないと、仕事とか大学、専門学校で県外に出た後に、なかなか帰ってくれません。ですから41地区それぞれに住んでいる子どもたちに、自分たちの地区を好きになりましょう、知ろう、ということで『ふるさと松山学』にもつながっていますが、鎌投げや和尚さん、お地藏さんのこともこれからも大事にしていきたいと思っています。

【都市・交通計画課長】 鎌投げは、かなり老朽化していてそのままにしておくといけないので、愛媛県が工事の関係で取り壊した経緯がありますが、あと北側に一カ所残っています。今後、上流に向けて護岸工事を進めていく予定ですが、県は残っている鎌投げ付近の工事方法については、地元の関係者とよく調整をしながら検討していきたいと話しています。今回のご要望を伝えさせていただきますので、よろしくお願ひします。

【男性】 その場所を小学校の先生方が分からないんです。どこにあるんですかと。分かるようにしないとイケないと思います。

【市長】 看板の設置とかができるといいですね。

【男性】 看板があるんです。でも朽ちてしまっって。

【都市・交通計画課長】 石手川公園は公園緑地課が愛媛県から土地を借りていますので、早速伝えて対応策を検討したいと思っています。

【市長】 まつやまの大切にしたい景観100選に石手川の鎌投げも入っていますので、ちょっとやり方を考えたいですね。

【市長】 ここで二つ目の広報タイムに入らせていただけたらと思います。私は、防災士の資格を7年前に取らせていただきました。皆さん、大きな地震のときには、家具が飛ぶような勢いで動いてきます。腕に当たれば腕の骨が折れてしまい、足に当たれば足の骨が折れてしまうこともあります。当たり所が悪ければ、命を失うようなこともあります。皆さん、ダンスは一人の力で運べますか。中身の衣類を除いて、大人二人の力で運べるくらいのダンスが動いてきます。ですから、家具固定は非常に大事なことになります。松山市では、危機管理課や消防職員が一生懸命皆さんの命を守る仕事をしているので、聞いていただけたらと思います。

広報タイム「家具転倒防止対策の必要性」

【市長】 ご清聴ありがとうございます。東日本大震災や阪神淡路大震災、熊本地震のときには、松山市消防から応援に行きました。保健師や水道局の職員も応援に行きましたけれども、「支援と備えを勉強してください」と伝えています。皆さん避難所に行ったら、最初から男の人と女の人を分けていた方がいいですよ。もちろん家族で避難してもらおう場所もあっていいですけども、皆さんがバーッと避難してきて、自分たちの場所を決め、朝起きたら、全然見知らぬ男の人が女の人の横で寝ていたりすると、授乳や着替えもしにくかったりしますよね。そんな勉強もしてきています。中央備蓄だけでなく、各地区にも備蓄しています。各地区に防災無線のスピーカーを置いているんですけども、ペアガラスの家とか増えていますし、暖房や冷房をかけていたり、大雨が降ってたりするとなかなか聞こえないときもあります。また、スピーカーの近所に住んでいる人は、音がうるさいという声もあります。角度を調整して、聞こえやすくなる場所もあるんですけども、それでも皆さんから「聞こえにくい」という声もありましたので、皆さんのご家庭にお配りしている広報まつやまの一面の下に、「災害時などの防災行政無線は電話で確認できます」というお知らせを入れています。電話番号も、松山市内は986-7755と書いています。ですから、何か防災行政無線から放送していると思ったら、電話をかけてもらうと、同じ内容を聞けます。NHKや民放の方にもお話をし、テレビでも同じ情報を流してもらうようにしています。さまざまな工夫を重ねていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

【男性】 石手川の護岸はコンクリートで固められていると思いますけれど、映像を観ましたら、江戸時代の石垣で、きれいな護岸になっていました。これからは、なるべく護岸も石手川の石垣とか自然石を使ったりしてはどうかと思います。テレビで見たんですけど、愛知県岡崎市に矢作川というのがあって、柳枝（りゅうし）法といって、柳は根が張るらしいので、土をしっかり捉えて、石を木の柵の中に入れて植えるらしいんですけど、伊勢湾台風とか平成12年の中部の豪雨のときには、水害がなかったと90歳くらいの長老の人が言っていました。そういう全国の水害対策を、もっと松山も取り入れてもらったらいいですし、やっぱりコンクリートむき出しというのは、なかなか景観的にもきれいではないものですから、なるべく自然石とか、昔の工法、例えば、長野とか山梨の信玄堤とか、昔のものも参考にしたらよいのではないかと思います。

【危機管理課長】 石手川ですが、県の管理部分と国の管理部分があります。八坂地区は、ほとんどが県の管理部分ということになりますので、県に伺いましたら、新立の対岸の日の出辺りのところや中村橋の両岸で護岸の改修工事を今やっているところです。実は一昨年（2019年）の西日本豪雨のときには、石手川ダムの放流は毎秒190トンくらい放流したんです。これは、石手川ダムができてから、最高の放流量だったんです。そのときに、

中村橋下流あたりの護岸が若干傷んだとか、そういうこともあったんだと思います。やはり工事はコンクリートというものを主流に行っているみたいですけど、今言っていたことを県にもお伝えし、対応させていただいたらと思います。

【市長】 国土交通省の松山河川国道事務所が担当になりますけれど、毎年、意見交換会をしていて、国土交通省の今の考え方だと、堤防が切れるようなことがあったらいけませんから、しっかりと堤防を築いていくというのと、できるだけ自然に親しむ、水に親しむという考えを持っているというのをすごく感じました。森松に賞をもらった赤坂泉という泉があって、松山市と国土交通省が連携して取り組んだ案件ですけども、国土交通省も可能なところはできるだけ自然に親しんでもらう考えをお持ちのようですので、ご意見をお伝えさせていただきたいと思います。

【女性】 私は、石手川と中の川の間に住んでいます。消防署が近くにあり、石手川ダムが放流されるときは放送は、雨が降っていても良く聞こえますが、市の広報など消防署のスピーカーで放送する「どこどこからのお知らせです」みたいなのが、ハウリングというか、ワーンと二重になって内容がほぼ聞き取れないことがあります。どのように聞こえているかを一度検証して、内容がよく聞こえるような放送にさせていただきたいと思います。

【危機管理課長】 たぶん今日も流れていたんじゃないかと思うんですけど、高齢の行方不明の方がいらっしやいまして、その内容を東警察署からの依頼で放送しました。放送は、放送する人によって若干違いはあるかもしれませんが、気を付けて分かりやすく放送することを心掛けるようにしますので、ご理解ください。

【市長】 予定の20時30分になりました。このあたりで締めさせていただこうかと思いますが、おっしゃるとおりだと思います。西日本豪雨が起こってから、市の放送のやり方もちょっと変えました。文章形式で長くなってしまうと何を言っているか分からないところがあるため、例えば、「緊急放送、緊急放送」と言葉を切って言ってから入っていき、できるだけ短い文章で的確に伝えるとかなど、今後いろいろ考えながら改善しているところです。今日、皆さんから「お金が要ることなんですけど」と前置きをされていましたが、遠慮なく言ってください。お金が要ることでも、やっぱり皆さんの声をもとにやっていくということが、非常に大事なことになります。松山市には、市長へのわがまちメールというメールやハガキで市長に直接声が届く制度もありますので、今日、本当は言いたかったんだけど、手を挙げるができなかったという方もいらっしやるかと思いますが、遠慮なく言っていただいたらと思います。これからも、現地・現場を大切に、市民視線を大切にしながら、一人でも多くの方に笑顔になっていただけるように頑張っていきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。

—了—